

八潮市議会議員 あさだ和宏(44歳)無所属(刷新の会)



継続こそ・力なり!!
子育て世代の声を市政へ!!

あす
未来の八潮・子どものために…
和宏のほっとかない!!
NEWS
vol.49<12月議会報告>

編集・発行

あさだ和宏を育てる会
会長 落合 利治
編集長 中井 欣也

〒340-0821 八潮市伊勢野306
FAX 048(996)4361

●発行日 平成25年1月●

討議資料

子供に
ツケを
まわさない!



ホームページ

あさだ和宏

検索

2013年 謹んで 新春のご挨拶を申し上げます。

輝かしい新年の幕開けを皆様健やかにお過ごしされていること、お慶び申し上げます。
昨年中は皆様より、ご指導、ご鞭撻を賜りました。どうぞ、本年も変わらぬご指導をよろしくお願いいたします。

さて、昨年末、衆議院解散総選挙が行われ、約3年3ヶ月続いた民主党政権から、自民党政権へと政権交代しました。その後約1ヵ月が経過し、新しい政権に期待する動きも顕著であり、日経平均株価が上昇するなど、我が国の経済状況にも多少、明るい兆しが見えてきました。今後、さらに大規模な補正予算も執行されることも予想されており、今後の経済状況の動きに注目する必要があると思います。

一方、今後増大の一途となる社会保障費や、原発を含むエネルギー問題、TPP・・・等、山積している政治課題も多いのが現状であります。今後、諸問題に迅速に対応する必要があり、それを解決するために様々な政策を実施する際には、私たち国民に分かりやすく説明をし、一定の理解を得ることが肝要だと考えます。

話しは変わりますが、今年は本市でも、市長選挙、市議会議員選挙が改選の年となり、今のところ8月の終わりから9月初旬に選挙が予定されています。

どちらにしても本市にとって、市のトップ「市長」と市民の代表である「議員」を選択する重要な「節目」の一年になると思います。

私自身、市議会議員として3期目の任期を9月で迎えることになります。議員として日々活動しておりますが、まだ浅学非才の身であり、皆様からのご期待には十分応えられていない部分もありますが、私の基本理念の一つである「市民の目線」を基本として、選挙の際に有権者の皆さんから負託されたことを再確認させていただくと共に、「議員の役割とは何か」「議員として何をすべきか」を自分に問いかけ、今年は新たなステップを目指すとともに、新たな気持ち・視点で、初心を忘れることなく活動をする決意であります。

2013年(巳年)が皆様にとりまして、素晴らしい一年になることを心より、ご祈念いたします。

八潮市議会議員 あさだ和宏

水戸偕楽園と美味しいイチゴ食べ放題・海産物ショッピングの旅

- 日 時：平成25年 3月3日(日曜日)
- 内 容：今回は、某人気ツアーで大人気の、甘い完熟イチゴ農園を訪れます。
- 参加費：大人5,900円 子供3,900円
(バス代・昼食代・イチゴ狩り代含む)

- 募集人数 180名 ※定員になり次第、締切りとなります。(お早めに)

【問合せ先 090-3402-6388 朝田】 *非通知設定では繋がりません。



皆さんも「絆ジャパン」主催の復興ボランティア活動に参加しませんか。毎月2回浦和から貸切バスをチャーターし、活動しています。詳しくは「絆ジャパン」で検索

一般質問

小・中学校における樹木の管理について

ここ数年、市内の小・中学校にある樹木(高木)が数多く伐採されています。高木が伐採され見通しが良くなったとの声がある一方で、貴重な緑が失われているとの声をお聞きします。そこで、下記の3点について伺います。

Q 平成23年度、平成24年度、それぞれ伐採をした樹木の本数について

A 平成23年度：八條小8本・潮止小5本・大曾根小3本・中川小1本・大瀬小10本・大原小1本・八潮中4本・大原中10本(合計42本)

平成24年度：八條小18本・八幡小4本・松之木小5本・大瀬小3本・大原小3本・八潮中4本(合計37本)

Q 伐採をする理由と基準について

A 台風などの強風で倒木したもののや傾いて倒木恐れのあるもの、また枯れていて倒木の恐れのあるものなどを伐採して安全確保に努めている。基準については特段、設けていないが、児童・生徒の安全確保のために、毎年、造園業者と各学校の樹木の生育状況などの確認作業を実施し、剪定及び伐採を行っている。

再質問

Q 平成25年度に伐採を予定している樹木の本数について

A 平成25年度に伐採を予定している樹木の本数について、潮止小3本・大曾根小10本・松之木小3本・大瀬小1本(合計17本)を予定

Q 伐採を実施した学校の中で、八條小がかなり多いがその理由について

A 学校の外周に植栽されている「ポプラ」は、木の中が空洞化しているものがあり、危険防止のために伐採、校舎南側は、教室内

が木の影の影響により暗くなっていることに配慮し伐採した。

Q 台風等で倒木、また倒木の恐れがある木は、過去に定期的に剪定は実施してきたのか。

A 各学校の植木剪定委託料では、高木の剪定等は難しいのが実情であり、今後、計画的に剪定をしていきたい。

Q 伐採を決定する際、現場の状況を教育委員会は確認されているのか

A 担当が確認し、その後、学校側と協議をして決定している。

Q 平成21年度に制定した「八潮市環境基本計画」の重点施策「緑化の推進」の中で、市の役割として「公共施設の緑化を推進します」との表記があるが、今後、各学校の緑化についてどのように考えているのか

A 現在、平成26年度で伐採等の計画があるが、今後の学校に植栽する樹木の剪定・管理を含め協議をしていく予定であり、できる範囲の中で努力をしていきたい。

和宏の考え・意見

今回、ある学校の保護者の方から、「ここ数年、学校の高木が数多く伐採されているのは何故?」と声が寄せられ、事前に担当課へ調査依頼をしたところ、上記のような数多くの高木が伐採されていることが判明しました。伐採をした高木の中には倒木の恐れがある木々もあり、その対応に迅速に対応した教育委員会は一定の評価をする必要があると思いますが、中には、本日に伐採をする必要があったのかと思うケースもあると私は感じています。また、そもそも論ですが、本来は数年ごとにきちんと予算を配分し、高木の剪定をおこなう必要があったのではと思います。当然の話ですが、失われた貴重な「緑」はすぐには元に戻りませんので、今後、はしつかり予算を確保し、管理をする必要があると考えます。

イベント開催時のごみ処理について

Q 草加市では、市内で開催される大きな

イベント時に発生するゴミ(食品トレイ・割り箸等)を、燃えるゴミとして回収するのではなく、幾つかに分別をする手法を取り入れています。

今後、本市でも、環境保護の観点から、市民まつり等の開催時、同様な取組みをする必要があると感じますが、市の考えを伺います。

A 本市の市民まつりのごみ処理に関しては、実行委員会の組織でもある美化推進部会が中心となつて、各部会の協力を得て、会場内に設置した「燃えるごみ」と「空き缶・空きビン等」の2種類の回収箱で回収しています。この回収された「燃えるごみ」については東埼玉環境資源組合第一工場に搬入、その他のごみに関しては、一旦、リサイクルプラザに搬入、分別し、資源回収業者へ引き渡しています。質問の、食品トレイ・割り箸等の再資源化については、資源回収業者に引取り依頼する際、水洗いにより汚れを落とし、水を切つてから引き渡すようになっていることから、イベント当日における水洗い・水切りの行為は大変困難な状況であり、「燃えるごみ」として処理しています。

今後は、イベント時に発生するごみについて、主催者側が企画の段階から「ごみを出さない・ごみが出ない」ように配慮することにも、やむを得ずごみを回収するイベントの場合ではごみ分別について細分化するなど工夫をして開催するなどを主催者側に協力していただけるように要請する考え。

再質問

Q 再度、市の考え方、方向性について

A 本市の市民まつりの場合、会場が分散型という点と、露天商の出店が多く、分別をすることは難しい状況。しかし、今後は、イベント開催時におけるごみの処理に関してガイドラインを作成する必要があると感じているので今後、作成する方向性で検討したい。

和宏の考え・意見

イベント開催時のごみ処理は、頭の痛い問題の一つです。もちろん、何万人も集まるイベントで全くごみを出さないということは不可能に近いと感じます。さて本

市のホームページについて

本市のホームページを利用される方から、「情報が少ない」「必要な情報が探しづらい...」等の声をお聞きします。市のホームページは、市の貴重な情報発信のツールの一つであり、今後、改善が必要だと考えます。そこで、下記の2点について伺います。

Q 市が協力・後援している催し物の掲載について

A 市が協力、後援をしている催し物の掲載については、各事業課において事業への関与の度合いを判断し、必要に応じて市のホームページに掲載、または外部団体のホームページにアクセス出来るように情報を提供している。

Q 記事の更新の頻度と、掲載する記事の選定はどのように決定しているのか

A 正規職員全員に対して、システム更新に必要なID及びパスワードを付与しており、各事業課において、情報の新規作成、更新・削除も含め、随時行えるシステムとなっており、広聴広報課としても、各事業課に対して、適切かつ迅速に情報提供を行うように周知しています。掲載する記事の選定は、その情報を所管する担当課が選定し、



和光市民まつりで使用されている「エコカップ容器」

○今年も2月17日(日)第三回やしおふれあい親子健康マラソンが開催されます。今回は出場者も大幅に増えてさらに盛大に開催される予定です。また、ランナーとして参加されない方も当日は、沿道での応援よろしくお願いします。課長の承認を経て、広聴広報課長が承認の上、随時決定している。

再質問

Q 他市のHPの場合、たとえば商工会等が実施をしているイベントの情報、市のHP上にリンクをされているケースがあり、本市でも、HPに「掲示板」等のコーナーを作り、分かりやすく情報が入手できるように改善をする必要があると思うが。

A 今後、このような改善をしてほしい事例があれば、HPの担当課へ要望してほしい。なるべく改善をする方向で考えています。

Q 利用者がどのような情報を市のHPに求めているかを把握することが重要であり、他の自治体HPにあるような「利用者の声・要望・アンケート」コーナーを掲載することも必要だと思うが。

A 掲載できるように検討していきたい。

和宏の意見・考え

私も本市のHPを利用し、様々な情報を得ていますが、時より「情報量が少ない」「情報が探しにくい」と感じることもあります。また先日、ある友人との会話の中で、「HPの情報を探しにくい」との声がありました。答弁の中で、今後、改善をしていきたい・とのことでしたが、特にHPは若い世代と、他市から本市に転入された方が多く利用していることがデータで判明できます。第14回 市民意識調査・地域情報化に関するアンケート報告書より)

また、最近では、イベント終了後に当日の様子等を掲載していることもあり、このような取り組みも、本市が取り組んでいる様々な施策や事業を市民の方に理解知ってもらう機会に繋がるのではと期待をしています。今後も、より魅力ある、情報を探しやすいHPを目指してほしいと思います。

※紙面の関係上、内容を割愛させていただいております。詳しくは市議会ホームページを

議会報告会・茶話会の報告

さる11月10(土曜日)伊勢野公民館にて、議会報告会・茶話会を開催しました。

当日は25名の方のご参加があり、前半は9月議会の議案・一般質問に関して議員から説明がありました。後半は、参加者の皆さんとお茶とお菓子を食べながら、参加された方からの質問や意見について懇談をしました。

今回は、土曜日の午後の開催ということで、いつもとは勝手が違い多少の戸惑いがありましたが、とても有意義な時間となったと感じています。今後も、このような会を定期的で開催する予定です。その際は是非、会場へお越し下さい。また、少人数でも報告会の開催は大歓迎ですので、遠慮なくご連絡下さい。



◎防災基本条例が制定されました。県内初

昨年、6月議会の一般質問で私が提案した、八潮市防災基本条例が12月議会に提案され、賛成全員で可決、制定されました。この条例は八潮市の防災対策について基本理念を定め、並びに市民・事業者及び市の責務を明らかにするとともに、基本となる事項を定め災害に強い安全なまちづくりの実施に寄与するための内容です。また、本市が埼玉県下63自治体「初」の条例制定となり大変嬉しい出来事でした。但し、条例中、災害発生時の際、災害時要援護者の情報を外部へ提供する項目について、もう少し具体的に表記をしてほしいという意見と、同条例に関連する八潮市個人情報保護条例の条文の整備をされることを要望するために、議会最終日、本議案に対しての賛成討論内で申し添えさせていただきました。(とにかく、後発組が多い本市の施策の中で、埼玉県下「初」の制定は高く評価をする必要があると思います)

◎八潮市町会自治会への加入及び参加をすすめるための条例が制定されました。

この条例は、町会自治会への加入及び参加をすすめることについて基本理念を定め、住民、事業者、町会自治会及び市の役割を明らかにし、基本となる事項を定めています。

さて、この条例ですが、住民の「任意加入」である町会自治会加入に関して、条例を制定して、どこまで条例の実効性を高めるのか一つのポイントとなります。また、制定後、それぞれの役割の再認識はもちろん、行政としても財政的な支援を含め、しっかりと対応をする必要があると考えます。ちなみに、本市における町会自治会加入率は、2012年現在「62.5%」となっており、2002年時の加入率「75.2%」と比較し、約10ポイント減少しています。

○今年も2月17日(日)第三回やしおふれあい親子健康マラソンが開催されます。今回は出場者も大幅に増えてさらに盛大に開催される予定です。また、ランナーとして参加されない方も当日は、沿道での応援よろしくお願いします。

えがお

和宏の独り言… ～「笑い・笑顔の多い一年に」～

2013年「巳年」が幕開けをし、間もなく一ヶ月が経過しようとしています。

今年の干支である「巳」(へび)は、生命力が強く・脱皮を繰り返しながら成長し、昔から不老不死を象徴する動物と言われています。(※私が苦手な動物です…)また、「再生する」という意味を持つ生き物でもあります。

さて、巳年は、過去の歴史を振り返ってみても、激動の事件が多い年として知られています。一部をご紹介します、1941年「真珠湾攻撃・日米開戦」1977年「第二次オイルショック」1989年「ベルリンの壁崩壊・日本ではバブル景気崩壊」2001年「アメリカ9・11テロ事件」…など、巳年は大きく変化や転機が起こる年であり、言い換えれば、「新しく生き返る年」とも言えるのではないのでしょうか…。

このような変化が大きい一年になる可能性がある2013年ですが、私は『笑いの多い一年』にしたいと思っています。

「笑う門には福来る」「談笑事を決す」…など、その効能を説く格言や諺が日本でも数多くあると思います。また、笑い・笑顔は重要な関係を持っており、笑いの効用は、科学的にも説明されており医療や福祉の現場でも取り入れられています。

この文章を読んだ方の中には「今の社会情勢で笑っている場合じゃない!」と思われる方もいらっしゃると思いますが、笑いは周囲に安心感を与えることが出来ますし、プラス思考で物事を捉えることが出来ます。逆に、苦虫を潰したような表情や、怒っているのは、良い知恵が生まれませんと感じます。

昨年、私も映画館で観賞した一人ですが、公開当初から、大ヒットを続けている本県・行田市を舞台にした映画「のぼうの城」の中でも、主人公の「成田長親」が危機的な状況な状況にも関わらず、「笑い」「笑顔」で様々な危機を乗り越えたシーンが、私はとても印象的でした。

今年は、本市でも、4年ぶりとなる、市長・市議会議員の選挙が行われます。

私も当事者の一人として、決して余裕はありませんが、今年一年「笑い」「笑顔」を大切に、変化が予想されることを「チャンス」と捉え、さらに飛躍する一年になるように頑張る所存です。

皆様にとりましても、笑い・笑顔の多い一年になりますように…。

和宏(^ ^)



あさだ和宏プロフィール

- 1968年 3月28日 八潮市に生まれる(現在44歳)
- 八潮保育園・八潮市立大瀬小学校(八小)・同大原中学校(二中)を卒業。(中学時代はバスケット部に所属)私立成立高校・商業科(現・成立学園)卒業(部活は、インターアクト部)卒業後、家業(有)あさだ商店入社。
- 長男誕生を機に、(社)八潮青年会議所へ入会、多くの先輩に出逢い、様々な社会勉強を学ぶと同時に、八潮市の施策(まちづくり・教育)に関心をもち「このままで良いのか?」という気持ちが高まる。
- 2001年9月、同会議所理事長時に、市議選があり、無投票の可能性に危惧し、告示30日前に急遽、立候補を決意。「無謀だ!泡沫候補」と言われながらも、1,229票(12位)で当選。
- 2005年9月、二期目の立候補 1,415票(9位)で当選。
- 2009年9月、三期目の立候補 1,733票(3位)で当選。その後、議員としての政策能力向上のため、40歳を機に、専修大学・法学部法律学科(2部)を受験、合格。 議員・家業・学生・・・と何足ものわらしを履き、2012年・4月に同大学を卒業。(4年間毎日、忙しい日々でしたが、貴重な経験・体験が出来ました)
- また東日本大震災発生時、本市・スポーツセンターに福島県から避難していた方に対して、本市で初めて炊き出しを実施。(約2ヶ月間継続)その後も、支援物資の仕分けボランティアにも参加。さらに、現在も、被災地(岩手県・宮城県・福島県)を中心に、毎月1回、復興ボランティア活動を行っている。「故郷日本復興支援チーム・絆ジャパンメンバー」。
- 座右の銘は「継続こそ・力なり」

